

2023年3月期 第3四半期
(2022/4-12)

決算説明資料

2023年2月22日

株式会社共立メンテナンス

〔証券コード 9616〕



01 2023年3月期 第3四半期決算概要 P.02

02 2023年3月期 業績予想 P.16

01 2023年3月期 第3四半期決算概要

02 2023年3月期 業績予想

寮事業の安定稼働とホテル事業の大幅増益により、業績のV字回復の兆しが鮮明

寮事業

期初稼働率は日本人学生が大幅に増加したことにより前期から1.4ポイント増93.5%でスタートし、期中においては入国規制緩和に伴い留学生が増加

ホテル事業

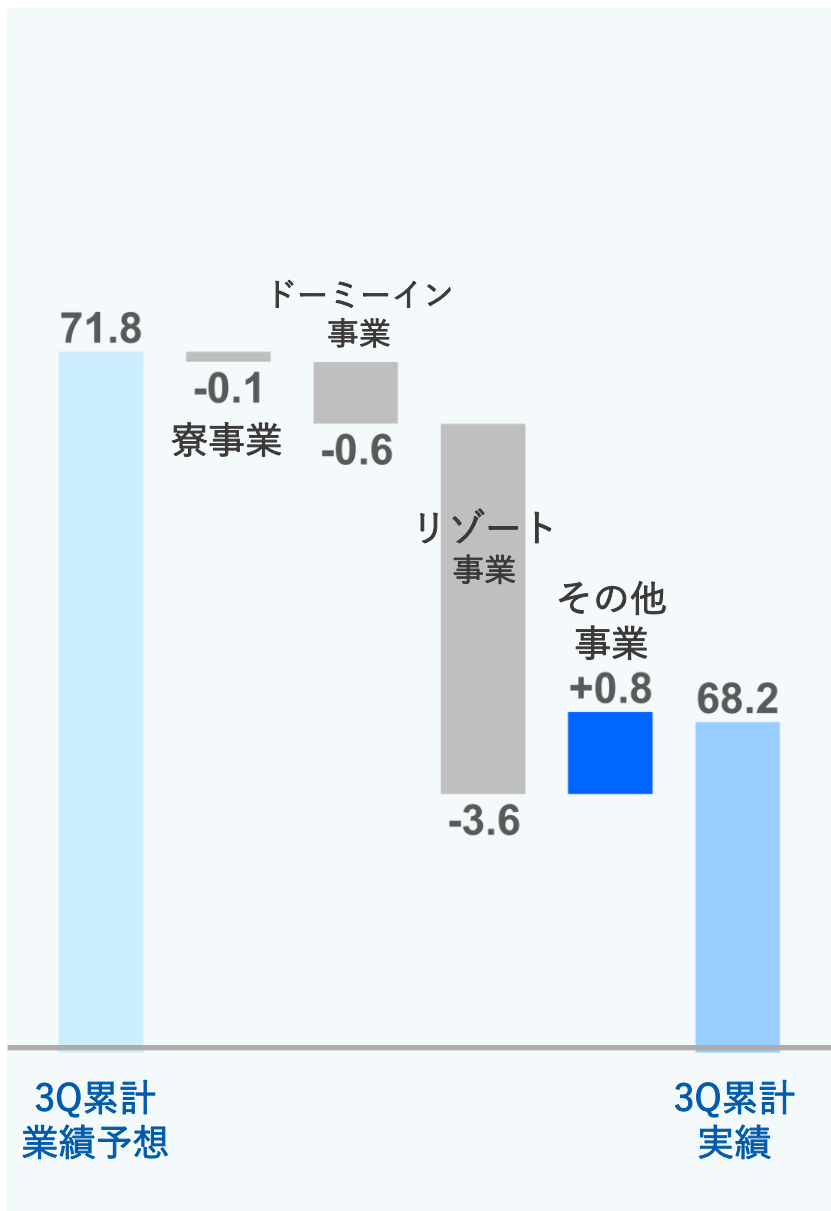
3期ぶりに行動制限のない環境下で、全国旅行支援等の観光需要喚起策の効果もあり、大幅な増収増益。なお、当第3四半期(10~12月)は過去最高益を更新

連結業績と主要経営指標

億円	FY 3/22	FY 3/23	FY 3/23	対前年同期		対予想		不動産 流動化 増減分 B	新規 開業棟 増減分 C	左記要因 除く 対前年同期 A - B - C	FY 3/23 業績予想	達成率
	3Q累計 実績 (2021/4 - 12)	3Q累計 業績予想 (2022/4 - 12)	3Q累計 実績 (2022/4 - 12)	A								
売上高	1,050	1,284	1,291	+240	+22.9%	+6	+0.5%	-51	+47	+244	1,700	76.0%
営業利益	-52	71	68	+120	-	-3	-5.0%	-5	-22	+149	55	124.1%
経常利益	-48		65	+114	-						51	128.9%
当期純利益	-39		41	+80	-						28	148.0%
EPS (円)	-100.8		106.3	+207.1	-						71.8	148.0%
減価償却費	45		44	-0	-1.1%						65	68.7%
キャッシュ・ フロー※1	5		86	+80	-						93	92.6%
設備投資額	52		44	-8	-16.5%						164	26.9%

※1 キャッシュ・フロー：当期純利益+減価償却費

営業利益の予想との乖離要因



営業利益 (億円)		1Q (2022/4-6)	2Q (2022/7-9)	3Q (2022/10-12)	3Q累計 (2022/4-12)	主要因
寮事業	予想	12	9	6	28	・概ね計画通り
	実績	12	9	5	28	
	差異	-	-	-0	-0	
ドリーミン事業	予想	14	26	29	71	・概ね計画通り
	実績	14	26	29	70	
	差異	-	-	-0	-0	
リゾート事業	予想	-13	-0	5	-8	・稼働率は計画を上回ったが、ADRは計画を下回り、変動費が増加
	実績	-13	-0	2	-11	
	差異	-	-	-3	-3	
その他事業	予想	-3	-6	-9	-19	・概ね計画通り
	実績	-3	-6	-8	-18	
	差異	-	-	+0	+0	
合計	予想	10	28	32	71	
	実績	10	28	28	68	
	差異	-	-	-3	-3	

売上高及び営業利益の事業セグメント別内訳

売上高

■ FY 3/19 3Q累計実績

■ FY 3/22 3Q累計実績

■ FY 3/23 3Q累計実績

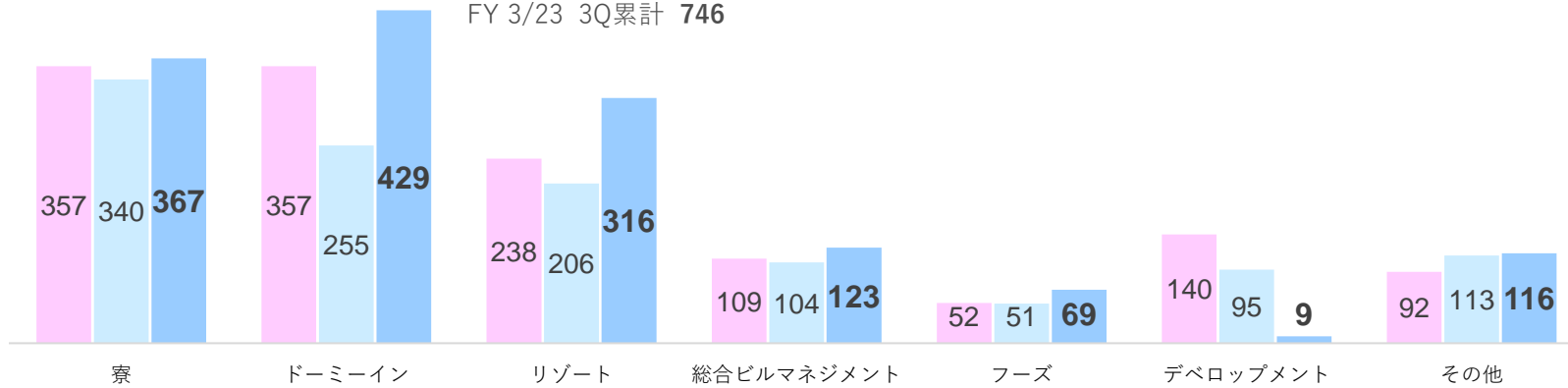
(億円)

ホテル合計

FY 3/19 3Q累計 595

FY 3/22 3Q累計 462

FY 3/23 3Q累計 746



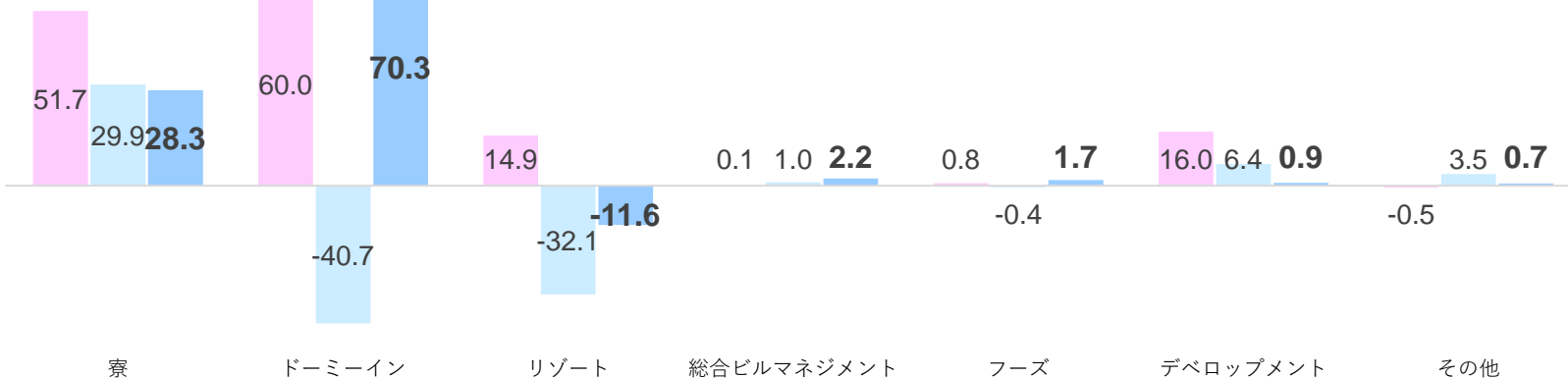
営業利益

ホテル合計

FY 3/19 3Q累計 74.9

FY 3/22 3Q累計 -72.9

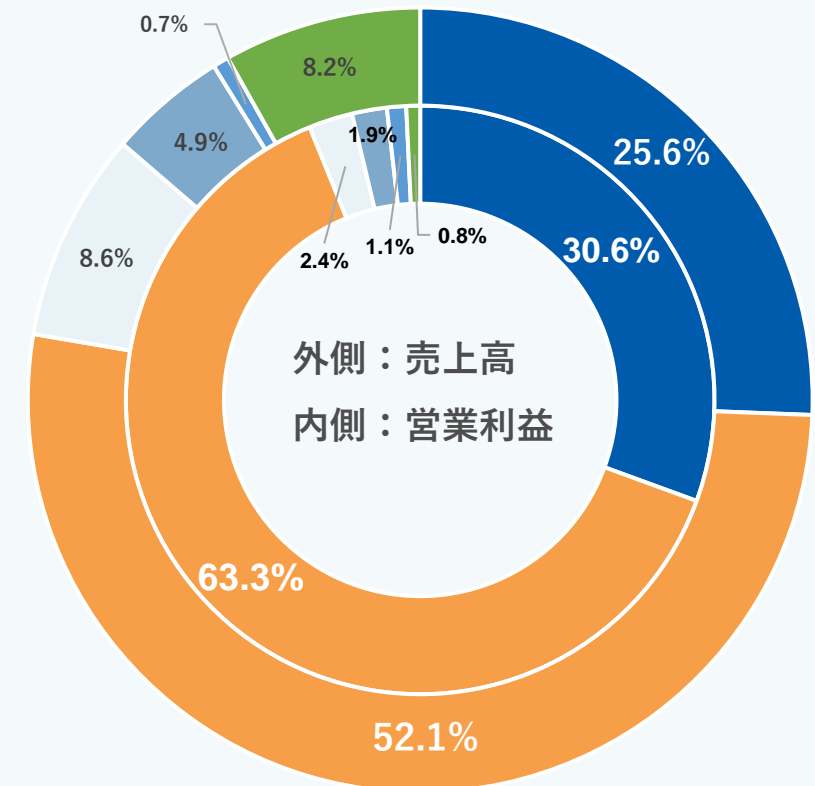
FY 3/23 3Q累計 58.7



セグメント別構成比 FY 3/23 3Q累計

(セグメント間内部取引消去前)

■ 寮事業 ■ ホテル事業 ■ 総合ビルマネジメント事業
 ■ フーズ事業 ■ デベロップメント事業 ■ その他

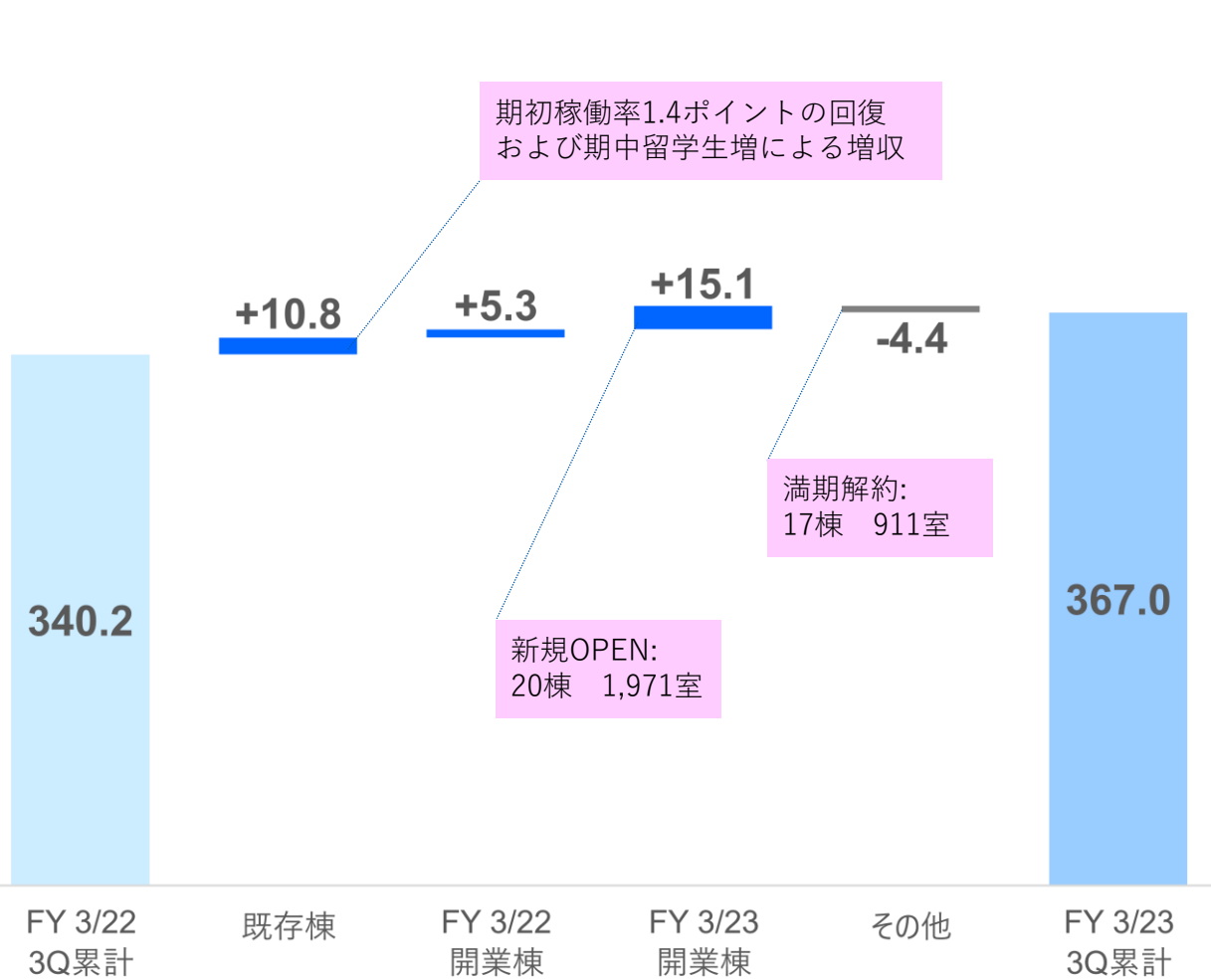


寮事業：売上高及び営業利益

(億円)

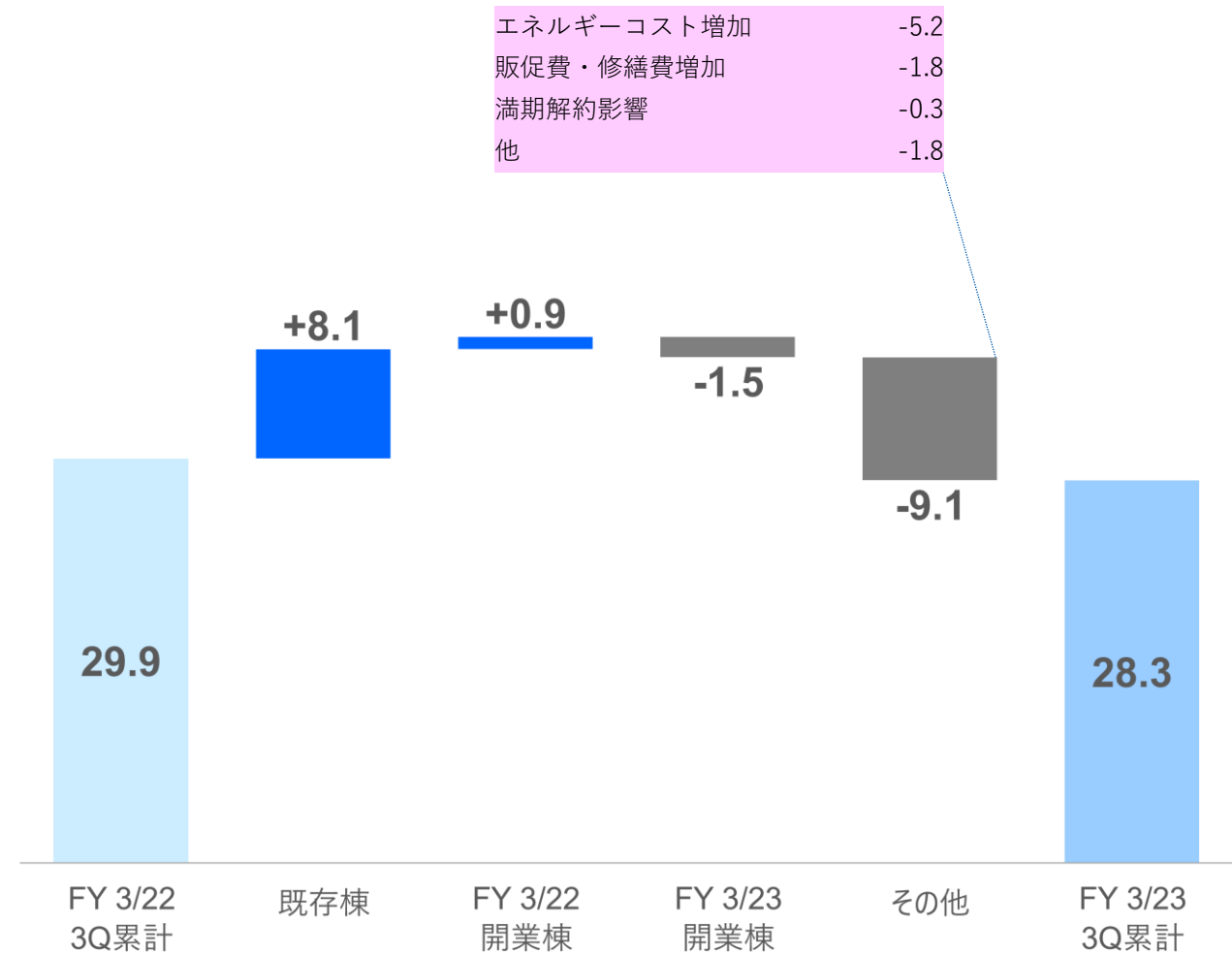
売上高

前年同期から 26億円 / 7.9%の増収

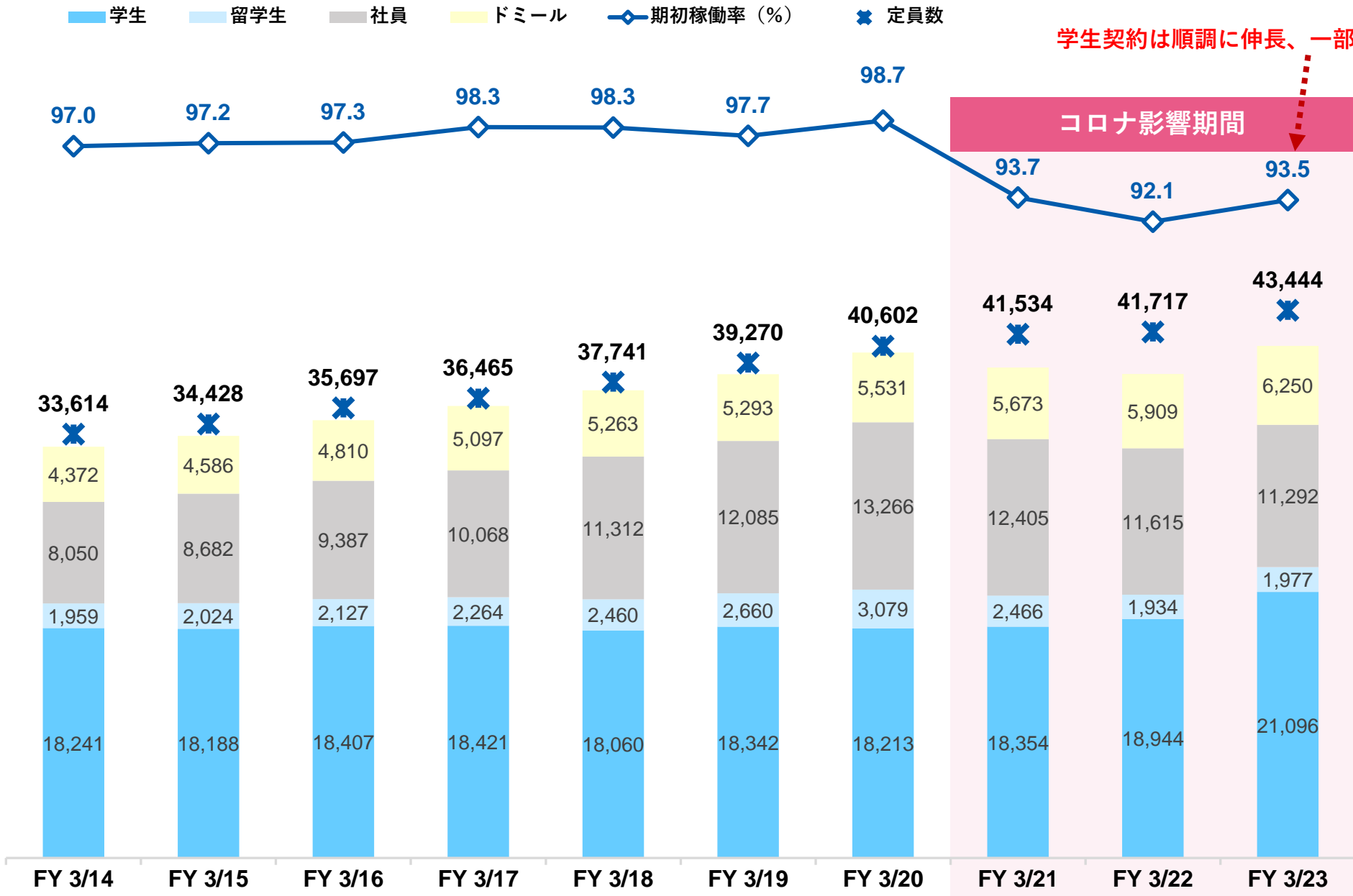


営業利益

前年同期から1.6億円/ 5.4%の減益



寮事業：期初稼働率及び契約別室数推移



学生契約は順調に伸長、一部の留学生が入国延期

コロナ影響期間

	FY 3/22	FY 3/23	YoY
期初稼働率	92.1%	93.5%	+1.4pt
物件数(棟)	502	514	+12
定員数(室)	41,717	43,444	+1,727
稼働数(室)	38,402	40,615	+2,213

稼働数の内訳 (室)			
ドミール	5,909	6,250	+341
社員	11,615	11,292	-323
留学生	1,934	1,977	+43
学生	18,944	21,096	+2,152

ドーミーイン事業：売上高及び営業利益

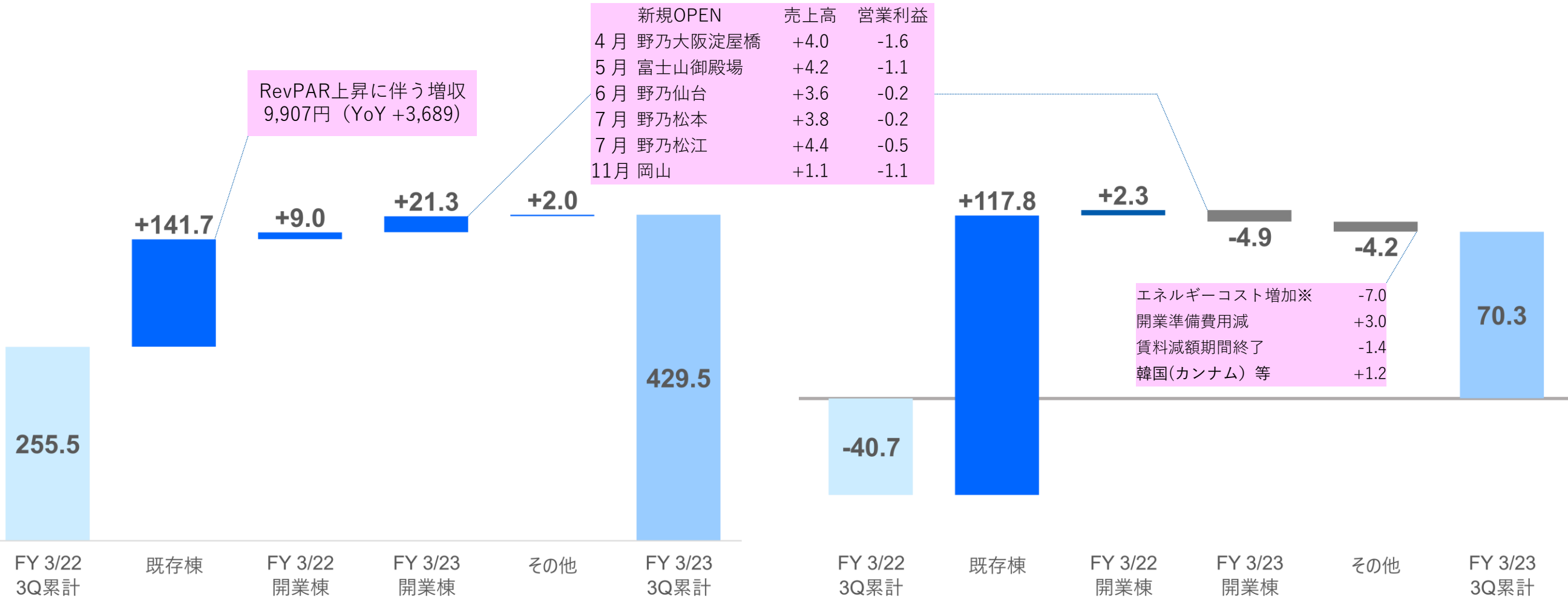
(億円)

売上高

前年同期から 174億円 / 68.1%の増収

営業利益

前年同期から 111.1億円の増益



※RevPAR換算でエネルギーコストの上昇は+180円、前期から+3,689円のRevPAR回復をもって吸収 **9**

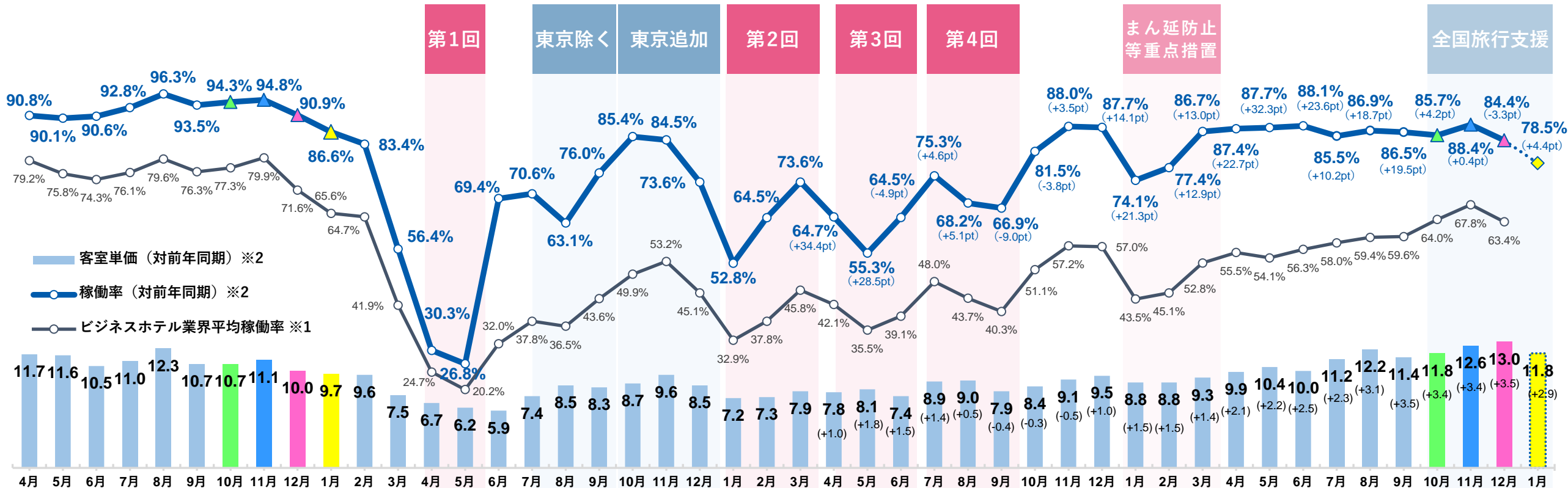
ドリーミン事業：稼働率及び客室単価の月別推移

緊急事態宣言

Go Toトラベルキャンペーン

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES



FY3/20 FY3/21 FY3/22 FY3/23

	(%)	FY 3/20					FY 3/21					FY 3/22					FY 3/23		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q
四半期別稼働率推移 ※2	実績 (対前年同期)	90.5%	94.2%	93.3%	74.9%	88.1%	42.1%	69.8%	81.1%	63.8%	64.7%	61.5% (+19.3pt)	70.2% (+0.3pt)	85.7% (+4.6pt)	79.5% (+15.6pt)	74.2% (+9.5pt)	87.7% (+26.3pt)	86.3% (+16.1pt)	86.1% (+0.4pt)
四半期別客室単価推移 ※2	実績 (対前年同期)	11.3	11.4	10.6	9.1	10.6	6.2	8.0	8.9	7.5	7.9	7.8 (+1.6)	8.6 (+0.5)	9.0 (+0.0)	9.0 (+1.5)	8.7 (+0.7)	10.1 (+2.3)	11.6 (+3.0)	12.5 (+3.4)

※1 出典：観光庁ホームページ

※2 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外

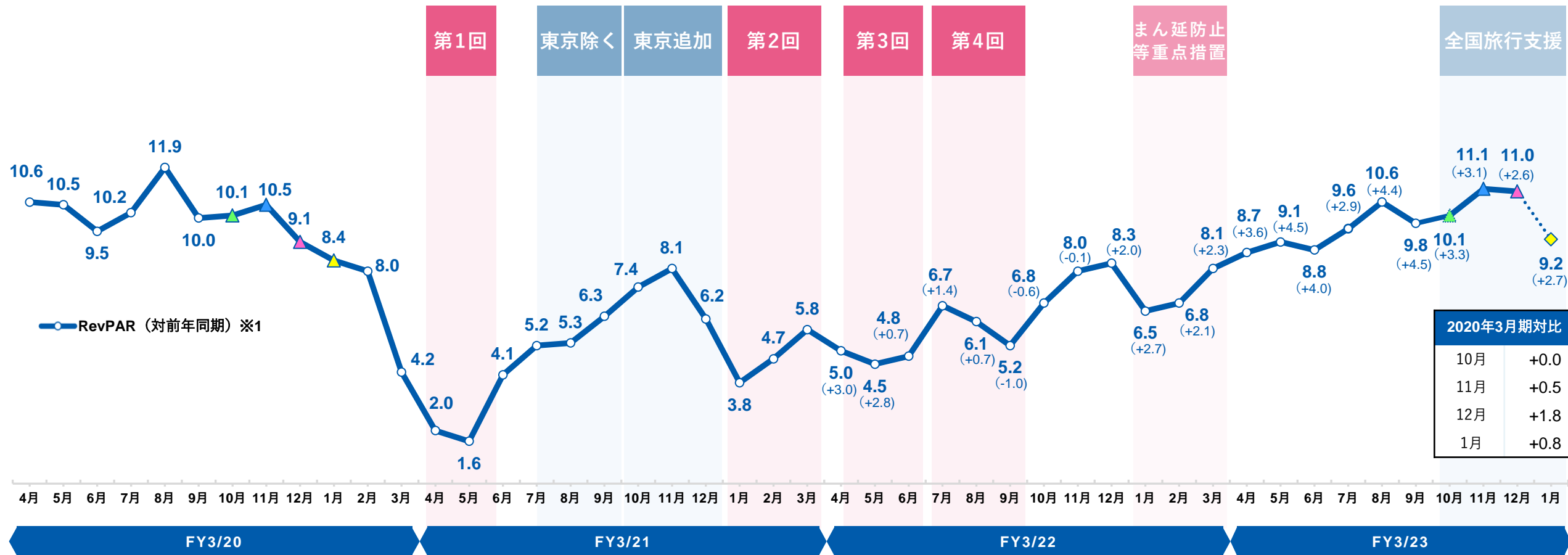
ドリーミン事業：RevPARの月別推移

緊急事態宣言

Go Toトラベルキャンペーン

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES



10月	+0.0
11月	+0.5
12月	+1.8
1月	+0.8

(千円)	FY 3/20					FY 3/21					FY 3/22					FY 3/23		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q
実績 (対前年同期)	10.2	10.7	9.9	6.8	9.4	2.6	5.6	7.2	4.8	5.1	4.8 (+2.1)	6.0 (+0.4)	7.7 (+0.4)	7.2 (+2.3)	6.4 (+1.3)	8.8 (+4.0)	10.0 (+3.9)	10.7 (+3.0)

※1 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外

リゾート事業：売上高及び営業利益

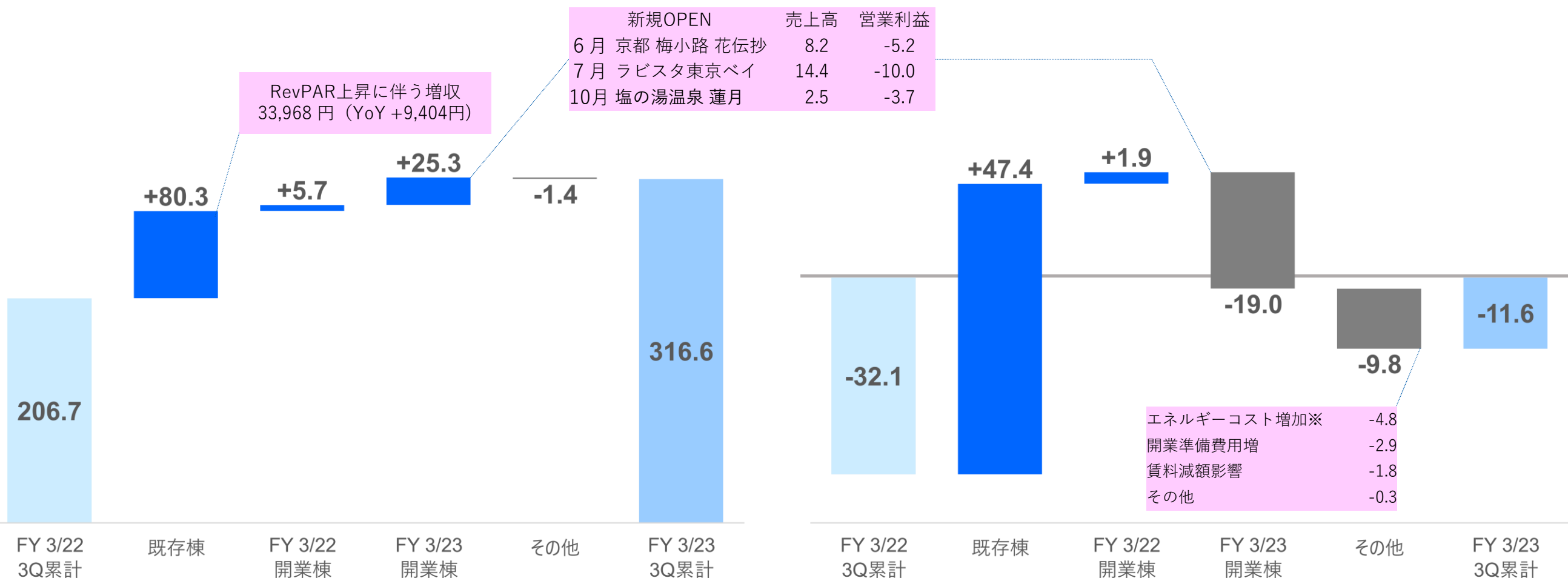
(億円)

売上高

前年同期から 109億円 / 53.2%の増収

営業利益

前年同期から 20.5億円の増益



※RevPAR換算でエネルギーコストの上昇は+580円、前期から+9,404円のRevPAR回復をもって吸収

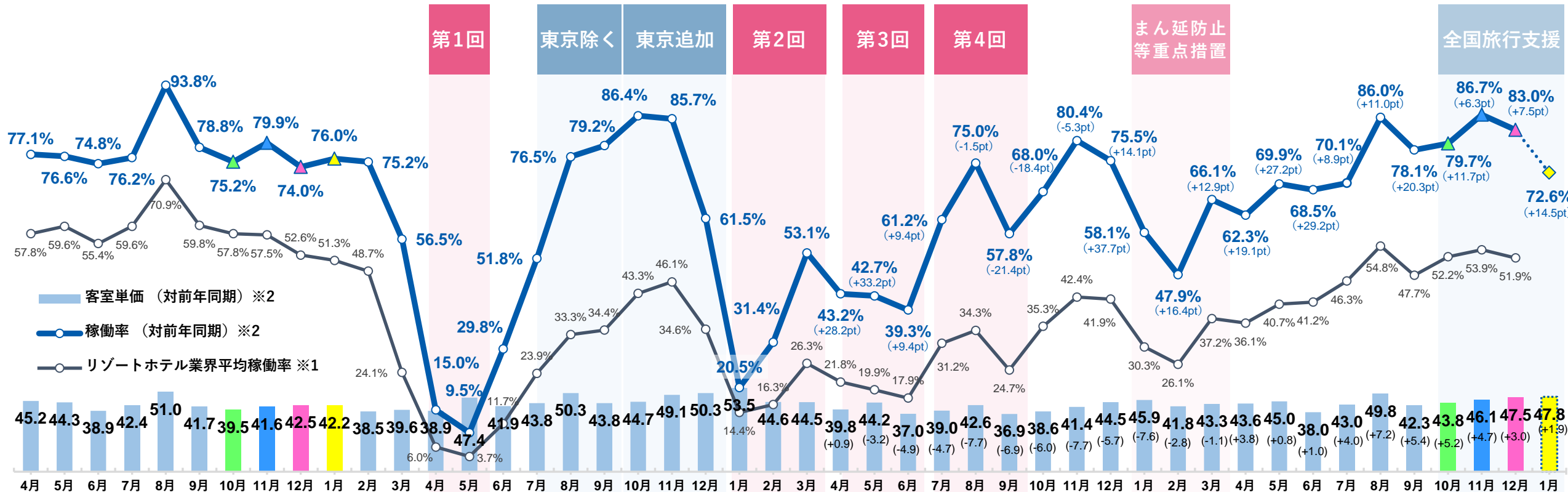
リゾート事業：稼働率及び客室単価の月別推移

緊急事態宣言

Go Toトラベルキャンペーン

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES



FY3/20 FY3/21 FY3/22 FY3/23

	(%)	FY 3/20					FY 3/21					FY 3/22					FY 3/23		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q
四半期別稼働率推移 ※2	実績 (対前年同期)	76.2%	82.9%	76.3%	69.0%	76.1%	17.1%	69.3%	77.3%	35.0%	51.8%	41.7% (+24.7pt)	64.7% (-4.6pt)	74.5% (-2.8pt)	57.7% (+22.6pt)	59.7% (+7.9pt)	67.0% (+25.2pt)	78.1% (+13.4pt)	83.1% (+8.6pt)
四半期別客室単価推移 ※2	実績 (対前年同期)	43.0	45.4	41.2	40.2	42.5	41.9	46.3	47.9	46.4	46.6	40.5 (-1.3)	39.8 (-6.4)	41.5 (-6.3)	43.8 (-2.5)	41.4 (-5.2)	42.2 (+1.7)	45.3 (+5.5)	45.8 (+4.2)

※1 出典：観光庁ホームページ

※2 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外

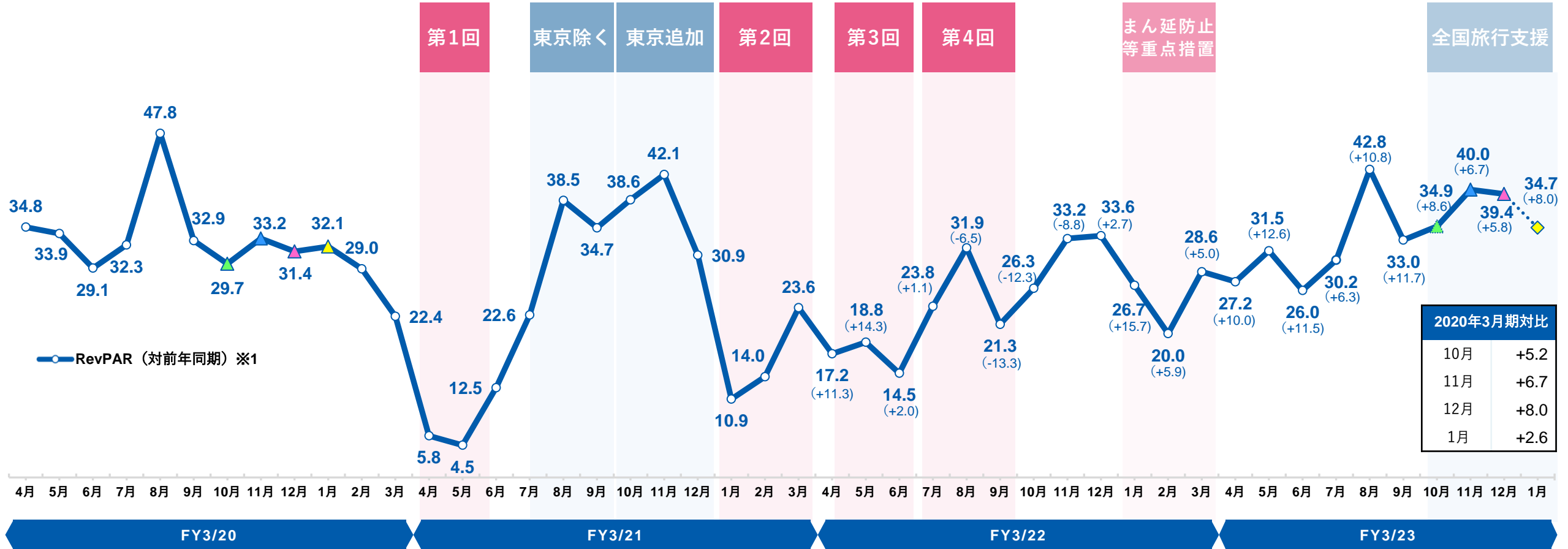
リゾート事業：RevPARの月別推移

緊急事態宣言

Go Toトラベルキャンペーン

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES



10月	+5.2
11月	+6.7
12月	+8.0
1月	+2.6

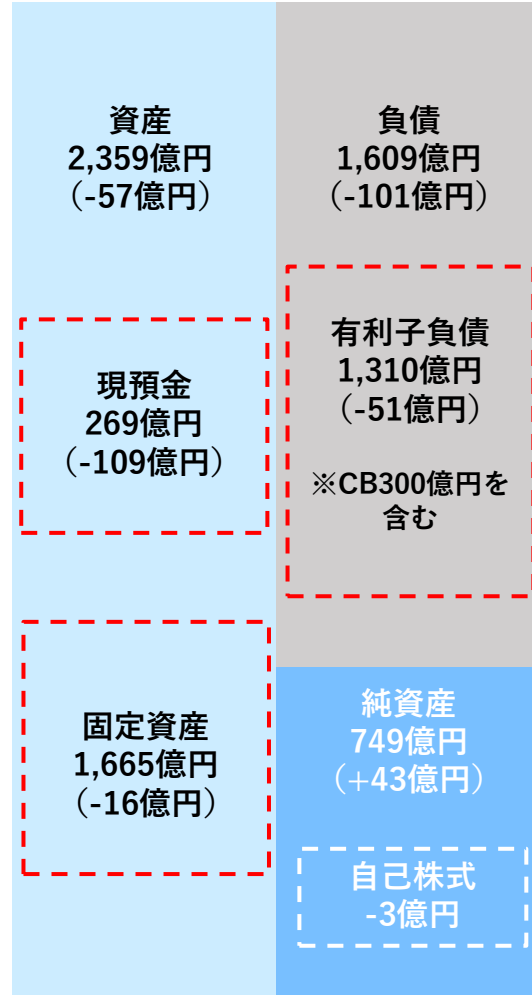
四半期別RevPAR推移※1	(千円)	FY 3/20					FY 3/21					FY 3/22					FY 3/23		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q
		実績 (対前年同期)																	
		32.7	37.7	31.4	27.7	32.3	7.1	32.0	37.0	16.2	24.1	16.9 (+9.7)	25.7 (-6.3)	30.9 (-6.0)	25.3 (+9.0)	24.7 (+0.5)	28.3 (+11.4)	35.4 (+9.6)	38.1 (+7.1)

※1 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外

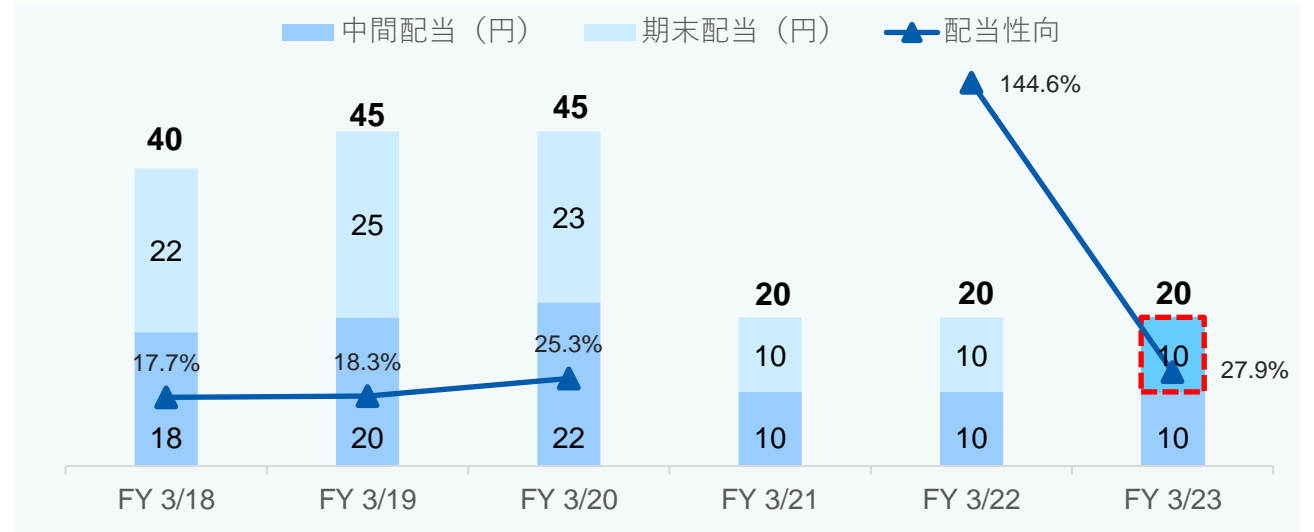
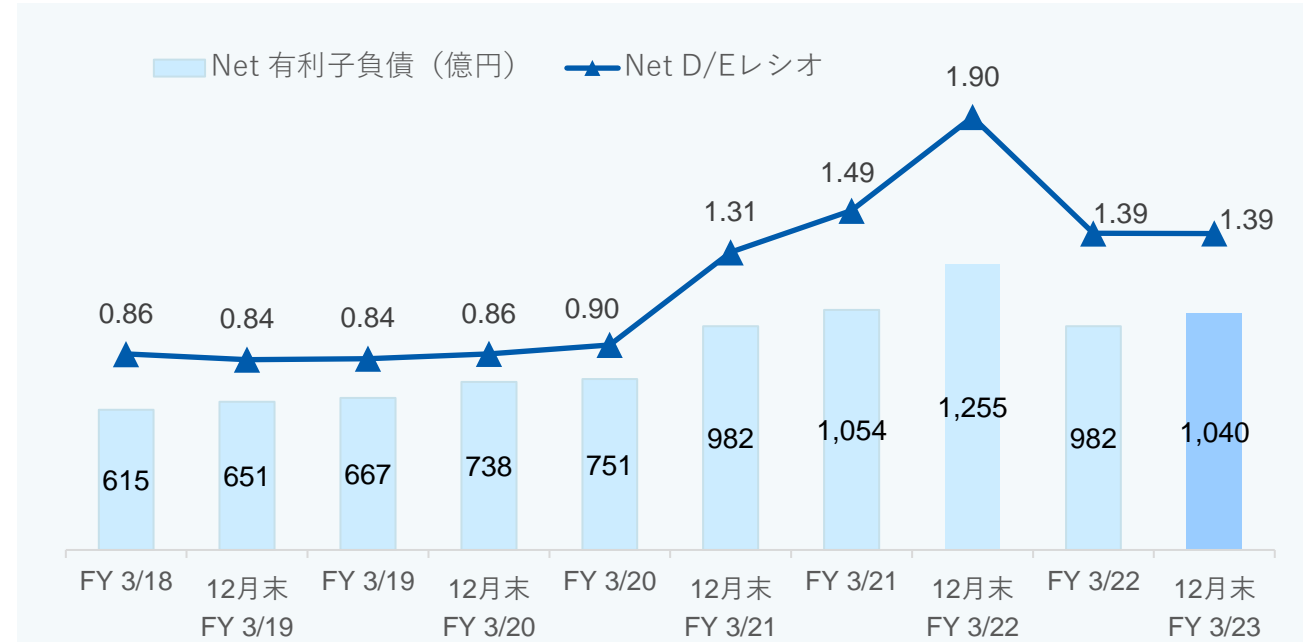
貸借対照表・Net D/E レシオ・配当金推移

2022年3月末

2022年12月末



(注) 有利子負債 = 短期借入金 + 1年以内償還社債 + 社債 + 長期借入金 + リース債務 + CB(転換社債)



01 2023年3月期 第3四半期決算概要

02 2023年3月期 業績予想

連結業績予想：主要経営指標

億円	FY 3/22	FY 3/23	増減額		不動産 流動化 増減分	新規 開業棟 増減分	大規模 リニューアル工事 費用増減分	左記要因 除く 対前年同期
	実績 (2021/4 - 2022/3)	業績予想 (2022/4 - 2023/3)						
売上高	1,737	1,700	-37	-2.1%	-373	+77	0	+259
営業利益	14	55	+40	+284.2%	-82	-29	-7	+160
経常利益	18	51	+32	+181.1%				
当期純利益	5	28	+22	+419.4%				
EPS (円)	13.8	71.8	+58.0	+419.3%				
1株当たり配当金 (円)	20	20	—	—				
減価償却費	60	65	+4	+7.1%				
キャッシュ・フロー※1	66	93	+26	+40.7%				
設備投資額	95	164	+68	+72.3%				

※1 キャッシュ・フロー：当期純利益+減価償却費

連結業績予想：事業セグメント別内訳

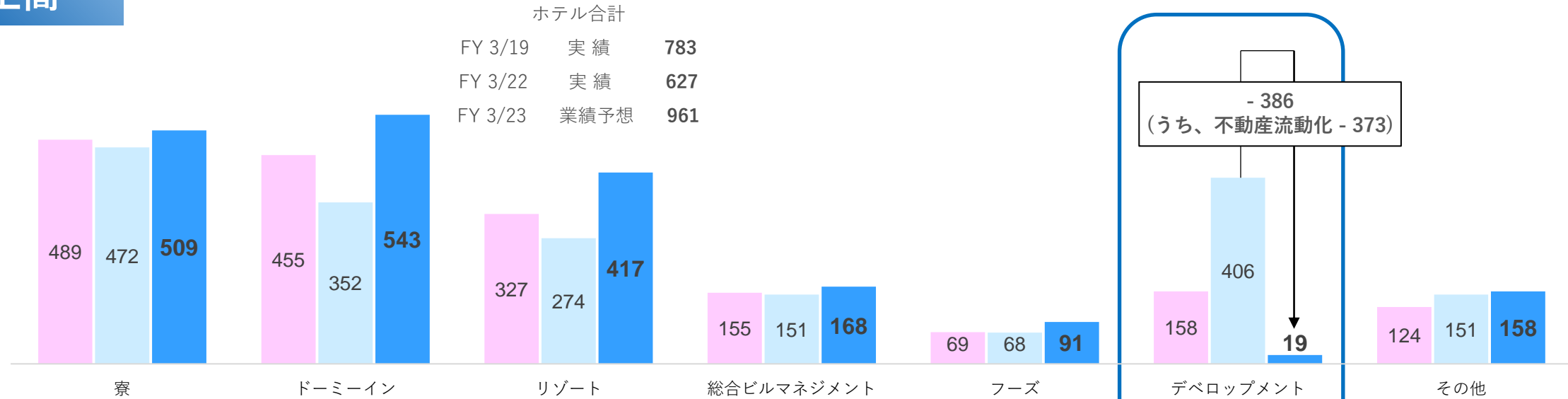
売上高

■ FY 3/19 実績

■ FY 3/22 実績

■ FY 3/23 業績予想

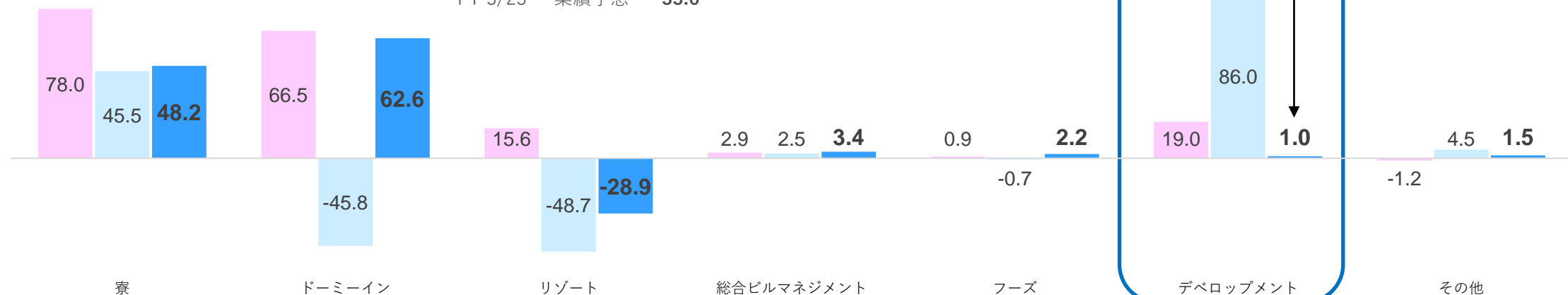
(億円)



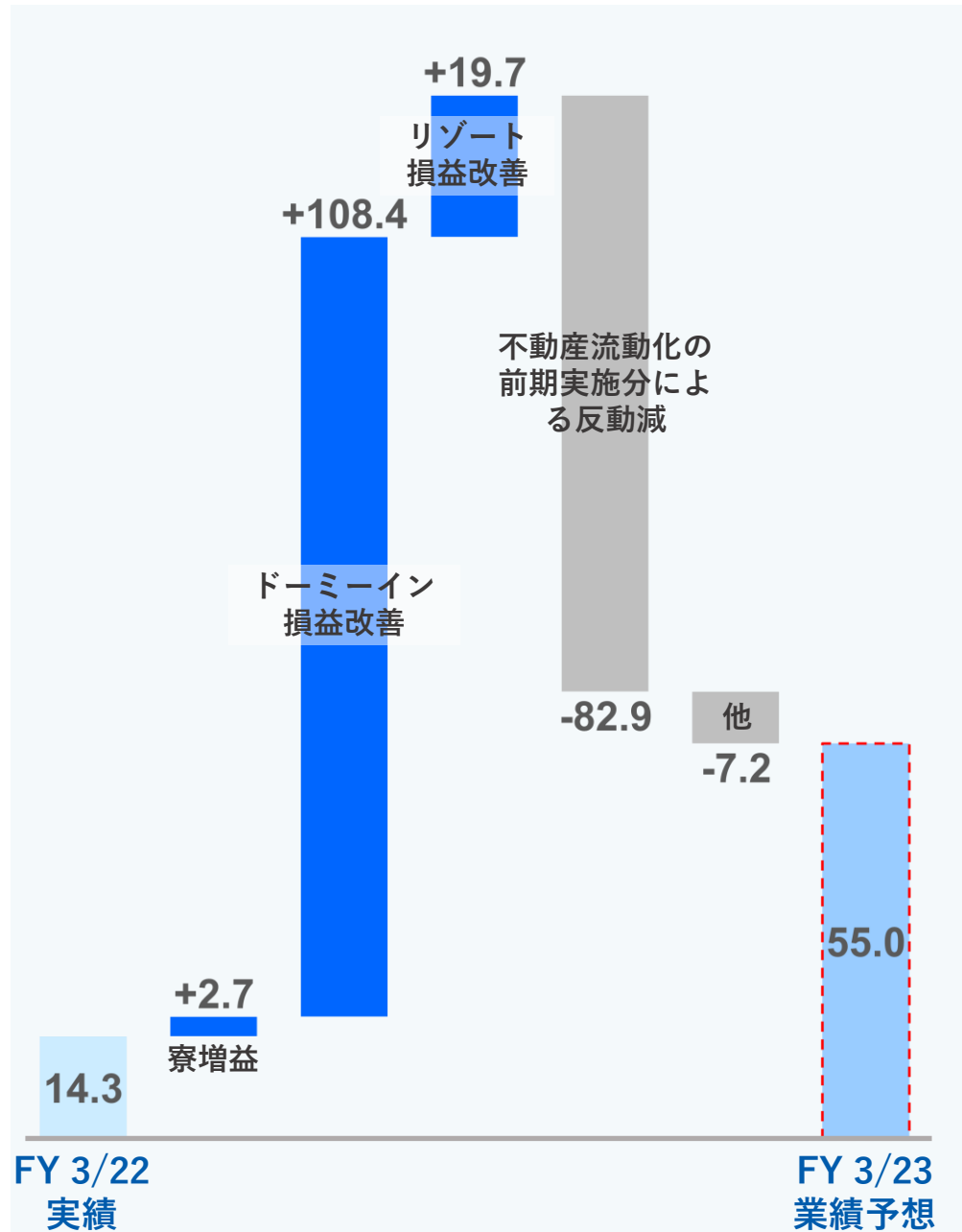
営業利益

ホテル合計

FY 3/19	実績	82.1
FY 3/22	実績	-94.5
FY 3/23	業績予想	33.6

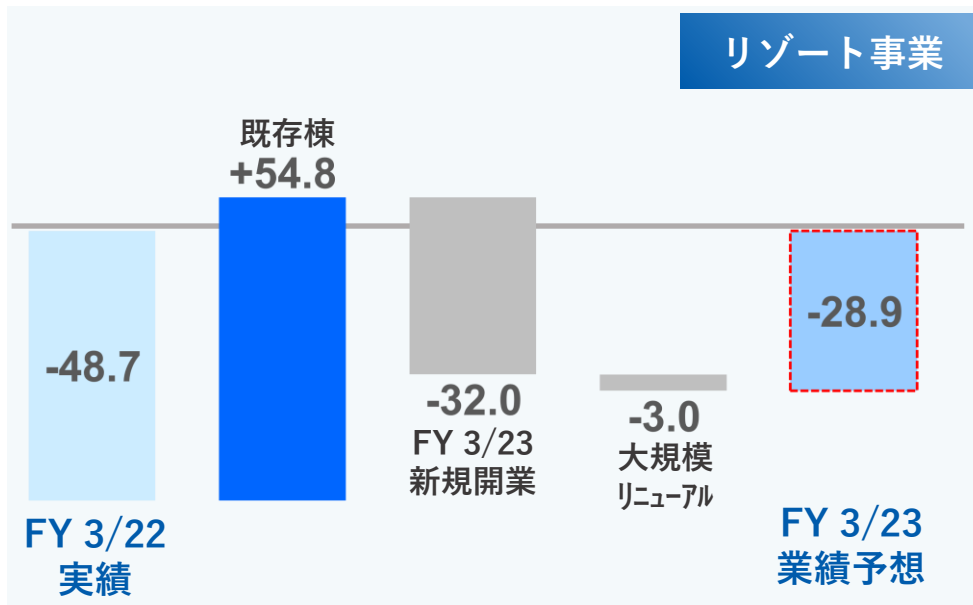
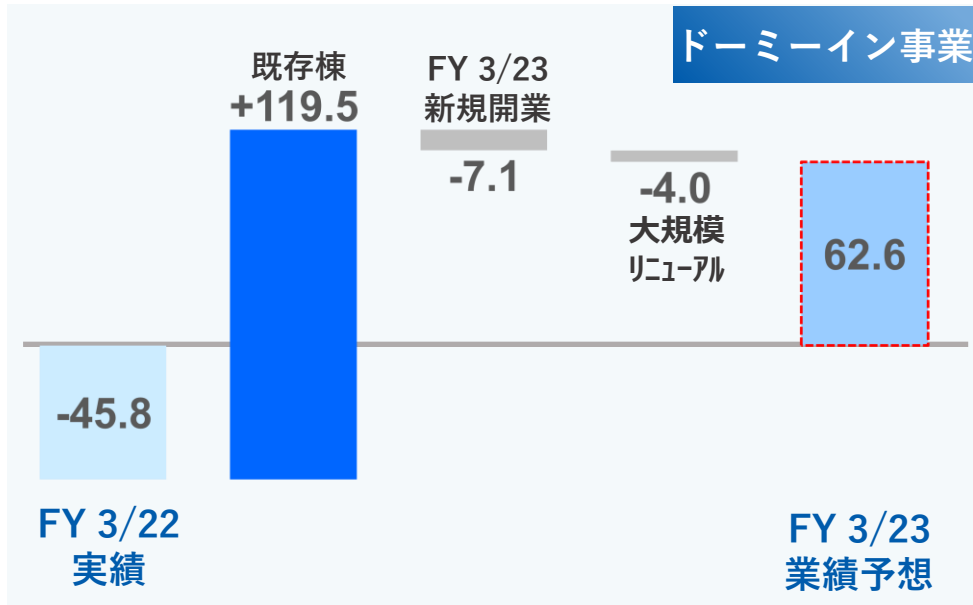


連結業績予想：主要セグメント四半期別営業利益



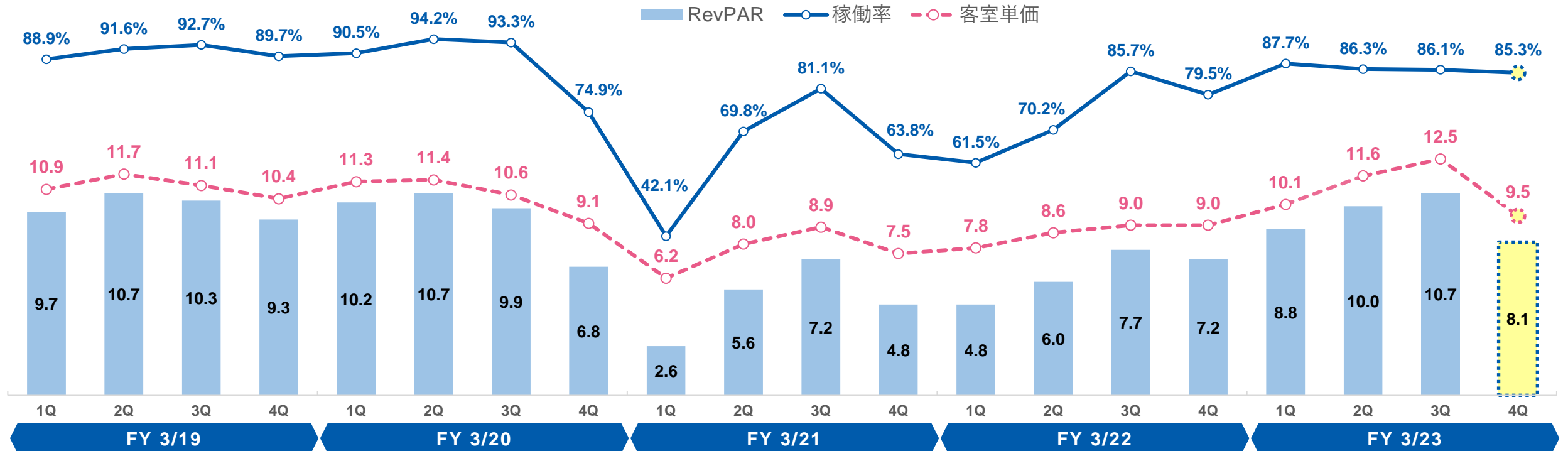
営業利益 (億円)		1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	通期
寮事業	FY 3/19 実績	19	17	14	26	78
	FY 3/22 実績	14	10	4	15	45
	FY 3/23 業績予想	12	9	6	19	48
	FY 3/23 実績	12	9	5		
ドリーミン事業	FY 3/19 実績	15	23	21	6	66
	FY 3/22 実績	-27	-17	4	-5	-45
	FY 3/23 業績予想	14	26	29	-8	62
	FY 3/23 実績	14	26	29		
リゾート事業	FY 3/19 実績	-1	11	5	0	15
	FY 3/22 実績	-21	-9	-1	-16	-48
	FY 3/23 業績予想	-13	-0	5	-20	-28
	FY 3/23 実績	-13	-0	2		
不動産流動化事業	FY 3/19 実績	-	9	3	-	12
	FY 3/22 実績	-	5	-	77	82
	FY 3/23 業績予想	-	-	-	-	-
	FY 3/23 実績	-	-	-		
その他事業	FY 3/19 実績	-7	-5	-4	-8	-26
	FY 3/22 実績	-5	-5	-4	-4	-19
	FY 3/23 業績予想	-3	-6	-9	-7	-26
	FY 3/23 実績	-3	-6	-8		
合計	FY 3/19 実績	25	54	40	25	145
	FY 3/22 実績	-40	-15	3	66	14
	FY 3/23 業績予想	10	28	32	-16	55
	FY 3/23 実績	10	28	28		

連結業績予想：ホテル事業サブセグメント営業利益



営業利益 (億円)		1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	通期	
ドーマーイン事業	既存棟	FY 3/19 実績	16	23	21	6	68
		FY 3/22 実績	-27	-17	4	-5	-45
		FY 3/23 業績予想	18	27	30	-3	73
		FY 3/23 実績	18	27	29		
	FY 3/23 新期開業 (7棟)	FY 3/19 実績	-	-	-	-	-
		FY 3/22 実績	-	-	-	-	-
		FY 3/23 業績予想	-3	-1	0	-2	-7
		FY 3/23 実績	-3	-1	0		
	大規模リニューアル	FY 3/19 実績	-1	-	-	-	-1
		FY 3/22 実績	-	-	-	-	-
		FY 3/23 業績予想	-	-	-1	-3	-4
		FY 3/23 実績	-	-	-		
合計	FY 3/19 実績	15	23	21	6	66	
	FY 3/22 実績	-27	-17	4	-5	-45	
	FY 3/23 業績予想	14	26	29	-8	62	
	FY 3/23 実績	14	26	29			
リゾート事業	既存棟	FY 3/19 実績	-1	11	5	0	15
		FY 3/22 実績	-21	-9	-1	-16	-48
		FY 3/23 業績予想	-9	8	10	-3	6
		FY 3/23 実績	-9	8	8		
	FY 3/23 新期開業 (5棟)	FY 3/19 実績	-	-	-	-	-
		FY 3/22 実績	-	-	-	-	-
		FY 3/23 業績予想	-3	-8	-4	-14	-32
		FY 3/23 実績	-3	-8	-6		
	大規模リニューアル	FY 3/19 実績	-	-	-	-	-
		FY 3/22 実績	-	-	-	-	-
		FY 3/23 業績予想	-	-	-	-3	-3
		FY 3/23 実績	-	-	-		
合計	FY 3/19 実績	-1	11	5	0	15	
	FY 3/22 実績	-21	-9	-1	-16	-48	
	FY 3/23 業績予想	-13	-0	5	-20	-28	
	FY 3/23 実績	-13	-0	2			

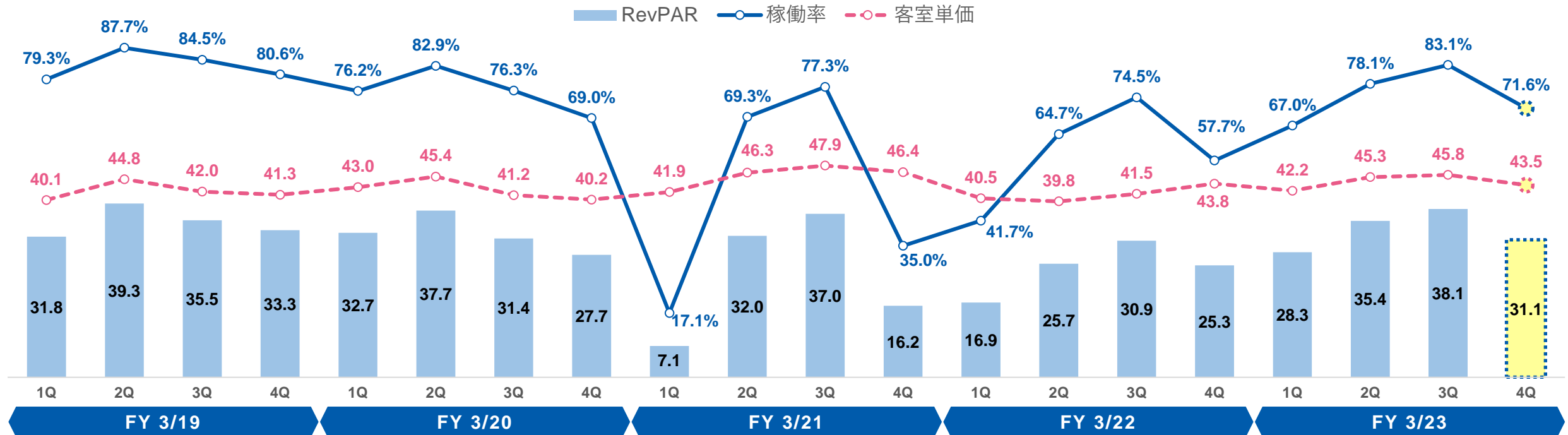
連結業績予想：ドーミーイン事業KPI四半期推移



	稼働率					客室単価					RevPAR						
	(%)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	(千円)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	(千円)	1Q	2Q	3Q	4Q
FY 3/19	88.9	91.6	92.7	89.7	90.8	FY 3/19	10.9	11.7	11.1	10.4	11.0	FY 3/19	9.7	10.7	10.3	9.3	10.0
FY 3/20	90.5	94.2	93.3	74.9	88.1	FY 3/20	11.3	11.4	10.6	9.1	10.6	FY 3/20	10.2	10.7	9.9	6.8	9.4
FY 3/21	42.1	69.8	81.1	63.8	64.7	FY 3/21	6.2	8.0	8.9	7.5	7.9	FY 3/21	2.6	5.6	7.2	4.8	5.1
FY 3/22	61.5	70.2	85.7	79.5	74.2	FY 3/22	7.8	8.6	9.0	9.0	8.7	FY 3/22	4.8	6.0	7.7	7.2	6.4
FY 3/23 業績予想	87.7	86.3	86.3	85.3	86.4	FY 3/23 業績予想	10.1	11.6	11.9	9.5	10.8	FY 3/23 業績予想	8.8	10.0	10.3	8.1	9.3
FY 3/19対比	-1.1pt	-5.3pt	-6.4pt	-4.5pt	-4.3pt	FY 3/19対比	-0.8	-0.1	+0.8	-0.8	-0.2	FY 3/19対比	-0.8	-0.7	+0.0	-1.2	-0.7
FY 3/23実績	87.7	86.3	86.1			FY 3/23実績	10.1	11.6	12.5			FY 3/23実績	8.8	10.0	10.7		
業績予想対比	-	-	-0.2pt			業績予想対比	-	-	+0.5			業績予想対比	-	-	+0.4		

(注) 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外

連結業績予想：リゾート事業KPI四半期推移



	稼働率					客室単価					RevPAR						
	(%)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	(千円)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	(千円)	1Q	2Q	3Q	4Q
FY 3/19	79.3	87.7	84.5	80.6	83.0	40.1	44.8	42.0	41.3	42.1	31.8	39.3	35.5	33.3	35.0		
FY 3/20	76.2	82.9	76.3	69.0	76.1	43.0	45.4	41.2	40.2	42.5	32.7	37.7	31.4	27.7	32.3		
FY 3/21	17.1	69.3	77.3	35.0	51.8	41.9	46.3	47.9	46.4	46.6	7.1	32.0	37.0	16.2	24.1		
FY 3/22	41.7	64.7	74.5	57.7	59.7	40.5	39.8	41.5	43.8	41.4	16.9	25.7	30.9	25.3	24.7		
FY 3/23 業績予想	67.0	78.1	78.8	71.6	73.9	42.2	45.3	47.6	43.5	44.8	28.3	35.4	37.5	31.1	33.1		
FY 3/19対比	-12.3pt	-9.6pt	-5.6pt	-9.0pt	-9.1pt	+2.1	+0.4	+5.5	+2.1	+2.6	-3.4	-3.9	+2.0	-2.1	-1.8		
FY 3/23実績	67.0	78.1	83.1			42.2	45.3	45.8			28.3	35.4	38.1				
業績予想対比	-	-	+4.2pt			-	-	-1.7			-	-	+0.5				

(注) 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外

寮事業およびホテル事業の開発計画

	FY 3/21		FY 3/22		FY 3/23		FY 3/24		FY 3/25	
寮・ドミール	+15棟*	+1,181室*	+21棟*	+1,928室*	+20棟*	+1,971室*	+11棟*	+1,043室*	+10棟*	+1,500室*
	期末棟数	507棟	期末棟数	512棟	期末棟数	512棟	期末棟数	519棟	期末棟数	525棟
	期末定員室数	41,927室	期末定員室数	42,551室	期末定員室数	43,277室	期末定員室数	44,110室	期末定員室数	45,240室
	リース比率	87.0%	リース比率	86.7%	リース比率	86.6%	リース比率	86.9%	リース比率	87.2%
	[L]北大Avenue、[L]日暮里 [L]仙台榴ヶ岡、[L]長久手 [L]浜田山、[L]駒沢公園 [L]江坂公園、[L]横浜西 [L]百万遍アネックス [L]麻布十番 他		[L]坂戸花町、新潟明石通り [L]中央大学南平、[L]入谷 [L]Duo自由が丘、[L]亀有 [L]アンジェリーク・コア [L]鶴舞公園、[L]大阪福島 [L]京都くいな橋、玄南荘、他		[L]西新宿、帝京大学八王子 [L]宇都宮、[L]東海大学前 [L]柏、[L]札幌大谷地 [L]仙台山本丁、[L]南森町 [L]西宮北口、[L]京都山科 [L]小倉さくら通り、他		[L]弘前、[L]仙台小松島 [L]仙台鉄砲町、[L]山形本町 [L]あすと長町、[L]大塚 [L]中野坂上、[L]相模大野 [L]大和南、[L]京都西院、[L]神戸山手		[L]札幌西11、[L]札幌西18 [L]仙台川内、水戸渡里町 [L]京都伏見、[L]大阪京橋、 [L]仁川、[L]神戸六甲台 [L]堺海岸通り、他	
ドミーン	+4棟*	1,166室*	+2棟*	+471室*	+7棟*	+1,107室*	+4棟*	+766室*	+3棟*	+357室*
	期末棟数	85棟	期末棟数	85棟	期末棟数	91棟	期末棟数	95棟	期末棟数	98棟
	期末定員室数	15,219室	期末定員室数	15,468室	期末定員室数	16,435室	期末定員室数	17,201室	期末定員室数	17,558室
	リース比率	99.1%	リース比率	99.1%	リース比率	99.1%	リース比率	97.4%	リース比率	95.4%
	[L]PREMIUM長崎駅前 [L]野乃京都七条 [L]神戸元町 [L]池袋		[L]野乃金沢 [L]広島ANNEX		[L]野乃大阪淀屋橋 [L]EXPRESS富士山御殿場 [L]野乃仙台、[L]野乃松本、 [L]野乃松江、[L]岡山 [L]PREMIUM銀座		EXPRESS豊橋 野乃浅草別邸 [L]野乃別府 [L]青森		野乃伊勢 EXPRESS雲南 EXPRESS陸前高田	
リゾート	+3棟*	+297室*	+1棟*	+69室*	+5棟*	+1,027室*	+1棟*	+79室*	+2棟*	+146室*
	期末棟数	36棟	期末棟数	37棟	期末棟数	41棟	期末棟数	43棟	期末棟数	45棟
	期末定員室数	3,135室	期末定員室数	3,207室	期末定員室数	4,193室	期末定員室数	4,272室	期末定員室数	4,418室
	リース比率	58.5%	リース比率	65.7%	リース比率	71.6%	リース比率	72.2%	リース比率	69.8%
	修繕寺温泉 桂川 奥飛騨温泉 平湯館 [L]和倉温泉 能登海舟		[L]ラビスタ草津ヒルズ		[L]京都梅小路 花伝抄 [L]ラビスタ東京ベイ 塩の湯温泉 蓮月 [L]定山溪 ゆらく草庵 [L]ラビスタ函館ベイ ANNEX		[L]ラビスタ観音崎テラス		ルシアン早雲山 鉄輪温泉	
全社リース比率	88.5%	88.7%	88.8%	88.7%	88.2%					

* 開発案件の棟数・室数の増加数を示している（期末稼働棟数・室数の前期末からの増加数を表しているものではない）

(注) [L] はリース案件、下線を引いている文字は不動産流動化可能な案件

重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation) 」とは、本プレゼンテーションにおいて株式会社 共立メンテナンス (以下、「共立」) によって説明または配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答および書面または口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション (それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます) は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申し込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘またはいかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。

共立が直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「共立」という用語は、共立およびその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社 (we、usおよびour) 」という用語は、子会社全般またはそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、共立の見積もり、予測、目標および計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念または見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets) 」、「計画する (plans) 」、「信じる (believes) 」、「望む (hopes) 」、「継続する (continues) 」、「期待する (expects) 」、「目指す (aims) 」、「意図する (intends) 」、「だろう (will) 」、「かもしれない (may) 」、「すべきであろう (should) 」、「であろう (would) 」、「することができた (could) 」、「予想される (anticipations) 」、「見込む (estimates) 」、「予想する (projects) 」などの用語または同様の用語もしくはその否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。この書類における将来見通し情報は、現在当社が入手可能な情報に鑑みて行った当社の現在の前提および理念に基づくものです。かかる将来見通し情報は、当社または当社の役員による、将来の業績に関する保証を表すものではなく、既知および未知のリスクとその不確実性、その他の要素を伴います。リスクと不確実性には、日本および世界中の一般的な経済条件を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競合品の出現・開発、規制当局による判断とその時期、自然災害などが含まれますが、これらに限られません。これらにより、当社の実際の業績、経営結果、財務内容は、将来見通し情報において、明示または暗示された将来の業績、経営結果、財務内容とは、大きく異なる可能性があります。当社または当社の役員は、この将来見通し情報において示された予想が結果的に正しいということは何ら保証するものではなく、実際の業績または経営結果は予想と大きく異なることがあります。本プレゼンテーションの受領者は、将来見通し情報に過度に依存するべきではありません。共立は本プレゼンテーションに含まれる、または当社が提示するいかなる将来見通し情報について、これを更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また本プレゼンテーションにおける共立の経営結果は当社の将来の経営結果を示すものではなく、またその予測、予想または見積もりではありません。

よい朝のために。

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES